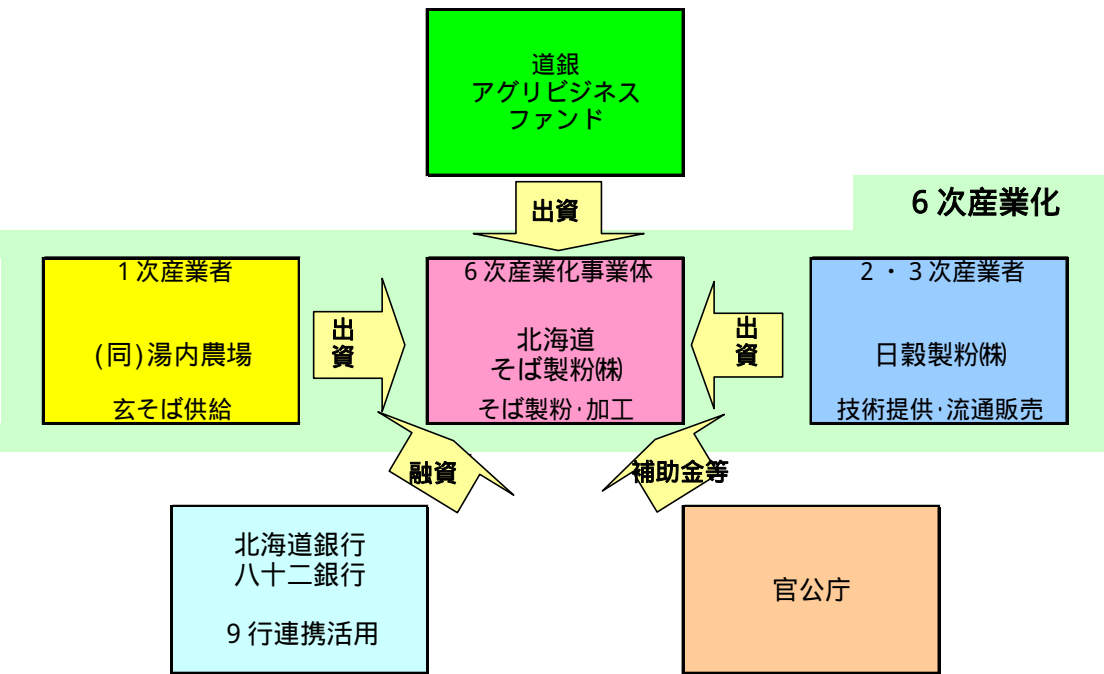


銀行名	北海道銀行
タイトル	道銀アグリビジネスファンドを活用した地方創生の取組み(北海道そば製粉の取組み)
取組み内容	<p>【背景・経緯】 当行は、道内の1次産業者と、2・3次産業者との連携による新たな事業機会の創出や付加価値創造を目的として、農林漁業成長産業化支援機構（以下：A-FIVE）等との出資により、25年4月「道銀アグリビジネス投資事業有限責任組合」を設立。 地域金融機関として当ファンドを営業推進のツールの一つとして活用し、6次産業化を支援するとともに地域振興・地方創生に貢献し、農林漁業分野の活性化に寄与することを目指している。</p> <p>【取組みの概要】 (1) 目的 日本一を誇る北海道のそば生産力に、長野県の製粉・加工・販売力を融合させ、道産そばをブランド化すること。 (2) 意義 道産そばの生産拡大、道産ブランドの確立による商品競争力の向上、6次産業化を実現し道内でバリューチェーンを構築、農業者の大口販路や事業継続パートナーの確保、そばを道内で製粉することによる時間・輸送コスト削減等。 プロジェクトの実現により、そば産地の地域活性化・地方創生、北海道全体の農業の底上げ・農業者の所得向上、高い品質の製品製造・商品提供、そばを活用した新製品の開発・販売等を展望している。</p> <p>(スキーム図)</p>  <pre> graph TD Fund[道銀アグリビジネスファンド] -- 出資 --> B1[1次産業者 (同)湯内農場 玄そば供給] Fund -- 出資 --> B2[2・3次産業者 日穀製粉株 技術提供・流通販売] B1 -- 出資 --> B3[6次産業化事業体 北海道そば製粉株 そば製粉・加工] B2 -- 出資 --> B3 Banks[北海道銀行 八十二銀行 9行連携活用] -- 融資 --> B3 Gov[官公庁] -- 補助金等 --> B3 B3 --- B1 B3 --- B2 style Fund fill:#00FF00 style B1 fill:#FFFF00 style B2 fill:#ADD8E6 style B3 fill:#FFB6C1 style Banks fill:#ADD8E6 style Gov fill:#FFDAB9 style B1_label[6次産業化] fill:none,stroke:none style B2_label[6次産業化] fill:none,stroke:none style B3_label[6次産業化] fill:none,stroke:none B1_label --- B1 B2_label --- B2 B3_label --- B3 </pre>

(3) 出資内容

当ファンドから新会社に対し1億円の出資を行うとともに、当行では、「地域再生・活性化ネットワーク(地銀9行による広域ネットワーク)」の枠組みを活用し、八十二銀行(長野県)と協調融資(各3億円)を行う予定。

総事業費 9億円	借入金 7億円	北海道銀行・八十二銀行 地域再生・活性化ネットワーク(9行連携)活用	6億円
		A-FIVE 資本性劣後ローン	1億円
	出資金 2億円	(同)湯内農場・日穀製粉㈱	1億円
		道銀アグリビジネスファンド	1億円

以上

HOKKAIDO BANK

News Release

平成 27 年 2 月 16 日

各 位

株式会社 北海道銀行

道銀アグリビジネスファンドによる 北海道そば製粉株式会社への出資について

北海道銀行（頭取 堰八義博）は、株式会社 農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）等と組成している「道銀アグリビジネスファンド」（無限責任組員：北海道ベンチャーキャピタル株式会社）を通じ、北海道そば製粉株式会社に、1 億円の出資を行うことを決定いたしました。

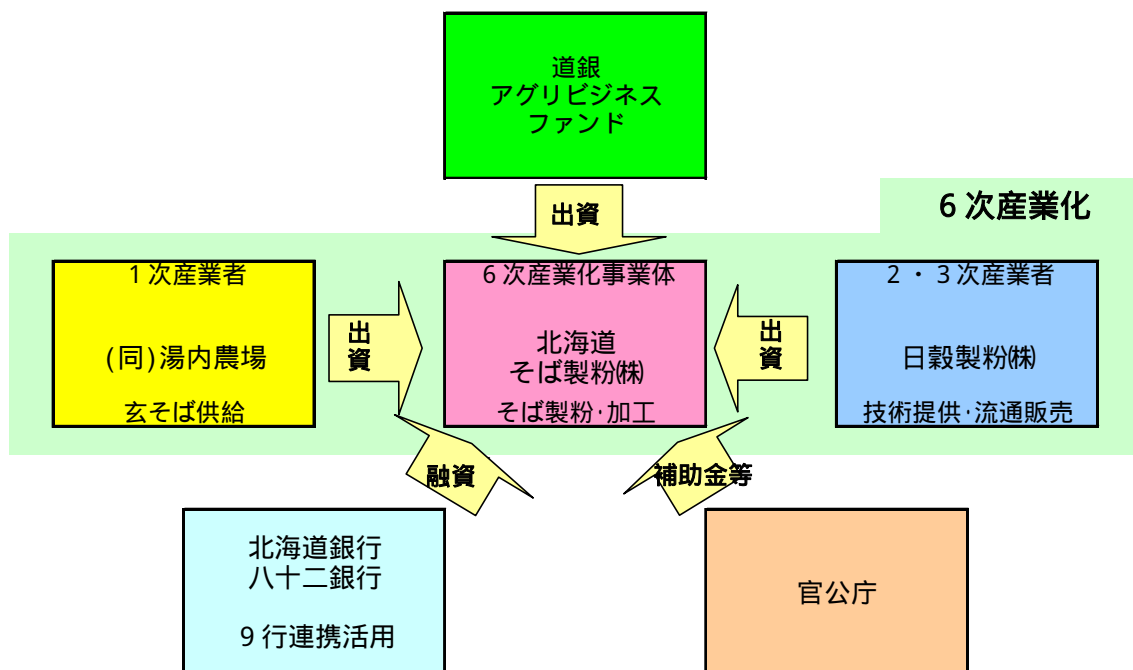
本件は、道銀アグリビジネスファンドの第 1 号出資案件となります。

内容は下記の通りです。

記

1. プロジェクトのイメージ

日本一を誇る北海道のそば生産力に、製粉・加工・販売力を融合させることで、北海道産の玄そばを北海道内で製粉することを実現し、官民一体で北海道産そばのブランド力を高め、道内外に発信することを目指しています。



2. プロジェクトの概要

- (1) (同)湯内農場と日穀製粉(株)が共同出資し新会社：北海道そば製粉(株)を設立。本件ファンドは新会社に1億円出資。
- (2) (同)湯内農場等の北海道内のそば農家から生産された玄そばを北海道そば製粉(株)が製粉加工。
- (3) 製品は日穀製粉(株)の販路・ネットワークを活用し道内外に販売。将来的には販売部門の内製化も視野。
- (4) 北海道そば製粉(株)は苫小牧市に製粉・加工工場を新設。
- (5) 当行は地域再生・活性化ネットワーク(9行連携)を活用し金融支援。
- (6) 北海道・苫小牧市は用地確保や補助金等でサポート。

3. プロジェクトの意義

- (1) そば産地における生産拡大が期待できること。
- (2) 北海道ブランドの確立による商品競争力の向上が期待できること。
- (3) 6次産業化を実現し北海道内でバリューチェーンを構築すること。
- (4) 農業者の大口販路や事業継続パートナーが確保できること。
- (5) そばを北海道内で製粉することによって時間・輸送コストを削減できること。

4. プロジェクトが目指す将来像

- (1) そば産地の地域活性化・地方創生
- (2) 北海道全体の農業の底上げ・農業者の所得向上
- (3) 高い品質の製品製造・商品提供
- (4) そばを活用した新製品の開発・販売

5. 北海道そば製粉株式会社の概要

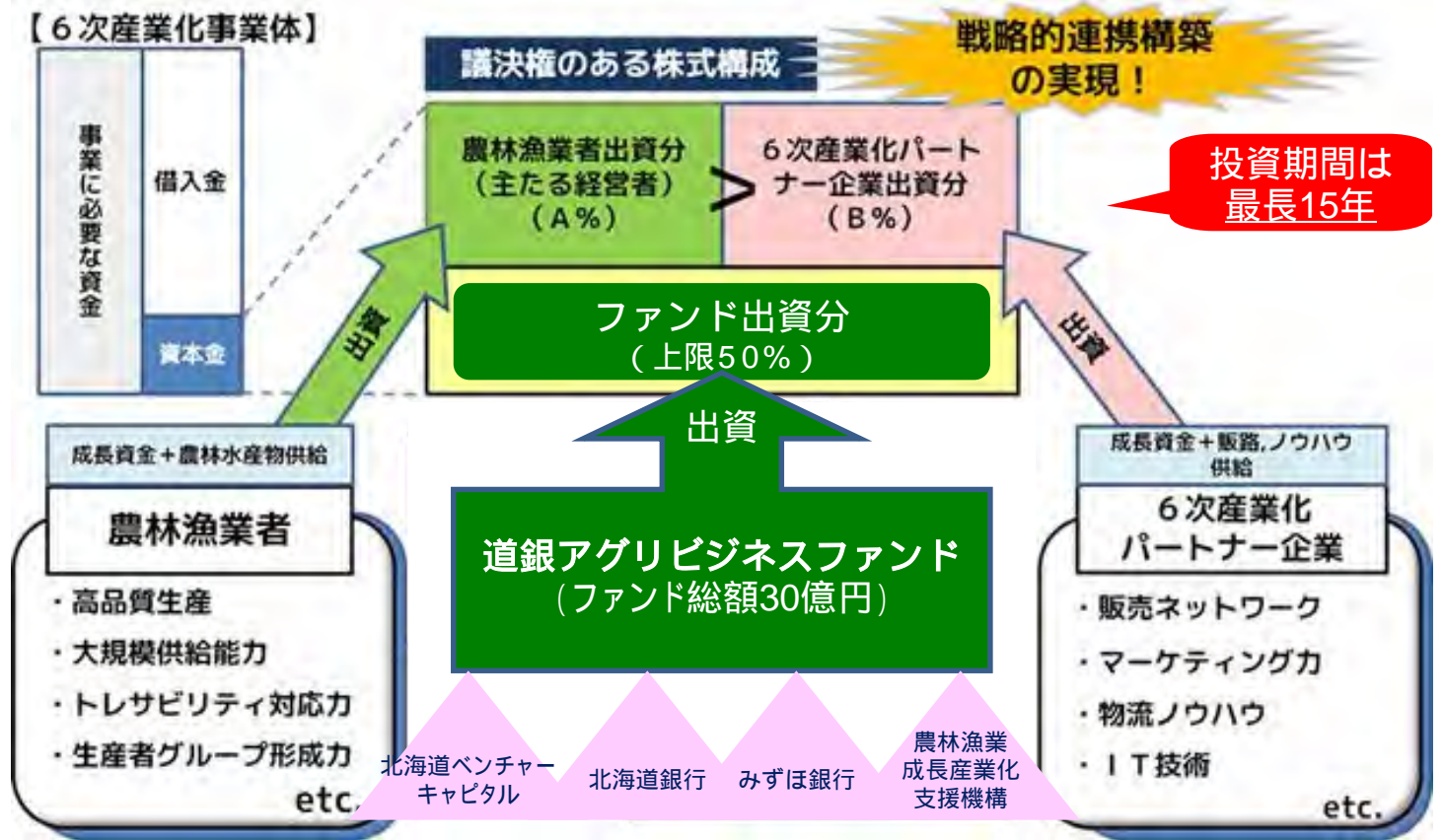
所在地	苫小牧市字柏原 32 番地の 6 (苫東工業地域内)
代表者	代表取締役社長 松島 永典
事業内容	そば製粉・加工
ファンド出資額	1 億円
資金使途	そば製粉・加工工場新設に伴う事業資金
総事業費	9 億円

6. 総事業費と調達計画のイメージ

総事業費 9億円	借入金	北海道銀行・八十二銀行 6億円 地域再生・活性化ネットワーク (9行連携)活用
		A - FIVE 資本性劣後ローン 1億円
	出資金	(同)湯内農場・日穀製粉(株) 1億円
		道銀アグリビジネスファンド 1億円

以上

道銀アグリビジネスファンド



道銀アグリビジネスファンドは、当行と農林漁業成長産業化支援機構等が出資するファンドです。

北海道における1次産業者と2・3次産業者との連携による新たな事業機会の創出や付加価値創造を目的としたファンドであり、北海道ベンチャーキャピタルが運営・管理を行います。ファンド総額は30億円です。

北海道銀行は地域金融機関としてこのファンドを活用し、6次産業化を支援するとともに地域振興・地方創生に貢献し、農林漁分野の活性化に寄与してまいります。

【お問い合わせ先】

北海道銀行営業推進部アグリビジネス推進室 佐藤・松田 TEL 011 233 1066
 北海道銀行経営企画部広報CSR室 大海・石田 TEL 011 233 1005

銀行名	北海道銀行
タイトル	釧路市立学校施設耐震化 PFI 事業
取組み内容	<p>【背景・経緯】 小中学校施設の耐震化工事への国庫補助金の期限は平成28年3月までとなっており期限に遅れると補助率が削減され、地公体に膨大な財務負担が発生する。北海道の小中学校の耐震化率は全国平均を大きく下回っており、早急な対応が必要とされていた。そこで当行は、地公体の首長・企画部門にヒアリングを実施し、ニーズを探っていた。</p> <p>【取組みの概要】</p> <p>1．内容 地域のインフラとしての市立小中学校 11 校の耐震化工事において、PFI 手法を活用した地域企業へのファイナンス支援。</p> <p>2．ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同企業体（JV）への受注を可能にした。 ・釧路市が延払分は債権譲渡による流動化対応としたこと。 ・地元信用金庫とジョイントアレンジ。 <p>【取組み成果】</p> <p>1．総事業費 90 億円、構成企業数 29 社は全て釧路市内業者で構成。</p> <p>2．借入人は JV 代表企業であり、流動化を活用することにより調達コスト・経営事項審査 Y 点への影響を最小限に抑制。</p> <p>3．地元信用金庫様と協調し、地域貢献・地域経済の発展に寄与。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>

News Release



平成 26 年 4 月 14 日
株式会社北海道銀行
釧路信用金庫

「釧路市立学校施設耐震化 PFI 事業（第二期）その 1・その 2」 に関する融資契約の締結について

株式会社北海道銀行（以下、北海道銀行・頭取：堰八義博）と釧路信用金庫（理事長：佐藤禎一）は、このほど釧路市が実施する「釧路市立学校施設耐震化 PFI 事業（第二期）その 1・その 2」（以下、本 PFI 事業）の事業者（共同企業体代表企業）である宮脇土建株式会社と坂野建設株式会社との間で、各々 15 億円・25 億円のシンジケートローンの契約を締結しました。

1. 「釧路市立学校施設耐震化 PFI 事業（第二期）その 1・その 2」の概要

内容	釧路市内の市立小中学校のうち 11 校（その 1 = 5 校、その 2 = 6 校）の耐震補強工事・大規模改造工事・維持管理業務。
目的	1. 耐震補強及び大規模改修を実施し、安全で安心な子どもたちの学習・生活の場確保と、災害発生時の避難施設としての役割確保。 2. 事業費の節減及び財政支出の平準化による、釧路市財政負担の軽減。
特色	共同企業体での受注を可能としており、発注者である釧路市は債権譲渡を認めることにより、事業者の資金調達円滑化を支援。
事業方式・事業類型	RO 方式・サービス購入型

釧路市立学校施設耐震化 PFI 事業は、本 PFI 事業 2 本を含め合計 3 本発注されております。

2. 融資契約などの概要

	その 1	その 2
融資契約者（代表企業）	宮脇土建株式会社	坂野建設株式会社
グループ構成企業	釧路市内企業 14 社	釧路市内企業 15 社
総事業費	約 45 億円	約 55 億円
工事期間	平成 26 年 3 月～平成 28 年 10 月	同左
維持・運営期間	平成 28 年 11 月～平成 36 年 3 月	同左
融資契約額	15 億円	25 億円
融資期間	平成 26 年 3 月～平成 28 年 11 月	同左
アレンジャー	北海道銀行・釧路信用金庫 （ジョイントアレンジ）	北海道銀行・釧路信用金庫 （ジョイントアレンジ）
エージェント	北海道銀行	北海道銀行
参加金融機関	北海道銀行	北海道銀行
	釧路信用金庫	釧路信用金庫
	大地みらい信用金庫	北洋銀行
特色	工事完了時に北海道銀行が債権流動化によるリファイナンスを実施する予定です。	同左
	本件はコーポレートファイナンスであり、SPC 向け融資ではありません。	同左
	釧路市と金融機関間で直接協定を締結します。	同左

News Release



3. 地域に根ざした PFI 事業

本 PFI 事業は、事業者が釧路市内の事業者により構成されたグループとなっております。これは、発注者である釧路市が工事施工に係る共同企業体での受注や、工事完成後の債権譲渡を認めた事業内容としたことから、事業者が S P C 設立に要するコスト及び事務負担から解放されると同時に、工事期間中の担保提供、工事完了後の債権流動化などのセキュリティパッケージが可能となり、効率的な資金調達が可能となった結果であります。

金融機関は釧路市内に本支店を置く地域金融機関でまとめられており、地方銀行と信用金庫のジョイントアレンジによる PFI ファイナンスは、北海道では第一号の事例となります。

北海道銀行と釧路信用金庫は道内の自治体に対し、質の高い公共サービスの提供とコスト削減に向けたご提案ならびに、道内の事業者に対し PPP・PFI（注）などの技術力が求められる事業参画のお手伝いをさせていただいております。

本 PFI 事業を通じて、地域貢献・地域経済の発展に寄与させていただくとともに、今後も両者は連携して地域社会の活性化を支援してまいります。

（注）PPP（Public Private Partnership：パブリック・プライベート・パートナーシップ）とは、行政主体による公共サービスを、行政と多様な構成主体との連携により提供していく新たな考え方。民間委託、PFI、指定管理者制度、民営化、地域協働、産学公連携等を含めた公民連携手法の総称。

PFI（Private Finance Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法。

【お問い合わせ先】

(株)北海道銀行 営業推進部	(近藤)	電話番号	011-233-1069
	経営企画部 広報 CSR 室 (石田)	電話番号	011-233-1005
釧路信用金庫 審査部	(細川)	電話番号	0154-23-9026

銀行名	北海道銀行
タイトル	北海道東北ビジネスマッチング
取組み内容	<p>【背景・経緯】 平成 25 年度より、東北・北海道地区交流促進地銀連携事業の一環として、北海道・東北間のビジネスマッチングを実施。平成 26 年度は、前年度に東北・北海道における 6 次産業化をテーマとして開催した「東北・北海道 6 次産業化ビジネスフォーラム」のアフターフォローを兼ね 2 度の商談会を開催したほか、個別企業のビジネスマッチングにも継続して取り組んでいる。</p> <p>【取組みの概要】</p> <p>1 . 「北海道・東北ビジネスマッチング～6 次産業化商談会」</p> <p>(1) 開催日・会場 平成 26 年 6 月 10 日 ロイトン札幌</p> <p>(2) 開催目的 東北各県と北海道が有する地域特産品の付加価値を高める。 6 次産業化を展望したビジネスマッチングを支援する。</p> <p>(3) 連携先 東北・北海道地区交流促進地銀連携各行、北陸銀行、北海道ほか</p> <p>(4) 実績 北海道 18 社、東北 7 社、合計 25 社が出展 アドバイザーとの商談・相談件数 61 件。うち成約 3 件</p> <p>2 . 「北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京～6 次産業化商談会」</p> <p>(1) 開催日・会場 平成 27 年 2 月 3 日 東京交通会館（有楽町）</p> <p>(2) 開催目的 東北・北陸各県と北海道が有する地域特産品の付加価値を高める。 6 次産業化を展望したビジネスマッチングを支援する。</p> <p>(3) 連携先 東北・北海道地区交流促進地銀連携各行、北陸銀行、北海道、北海道貿易物産振興会ほか</p> <p>(4) 実績 北海道 12 社、東北 17 社、北陸 7 社、計 36 社が出展。 専門家との商談・相談件数 100 件。</p> <p>3 . 北海道・東北交流ビジネスマッチング</p> <p>個別企業同士の個別ビジネスマッチング。当行と東北・北海道地区交流促進地銀連携提携行において、マッチング情報を随時受発信。平成 26 年度は当行から東北各行へ 5 先・13 件の情報発信、うち商談実現は 4 件。東北からの情報は 1 件受信し商談継続中。</p>

【参考】 東北・北海道地区交流促進地銀連携について

平成28年3月末の北海道新幹線開業を見据え、平成25年3月、東北地区の10地銀および1金融グループと「東北・北海道地区交流促進地銀連携」の業務提携を実施。同年4月1日、具体的な施策の企画、実行部署として営業企画部内に「北海道東北交流促進室」を新設した。提携先、目的、提携の範囲は以下のとおり。

(1) 提携先

青森銀行、みちのく銀行、岩手銀行、東北銀行、七十七銀行、秋田銀行、北都銀行、荘内銀行、山形銀行、東邦銀行、フィデアホールディングス

(2) 目的

東北6県、北海道の各地域における取引先企業、個人および各団体の交流支援、情報支援を通じて、各々の地域経済の発展に寄与する。

(3) 提携の範囲

各々の地域の経済団体等、各種団体の交流、連携支援

各々の取引先企業の相互地域への進出支援

ビジネスマッチング業務を含めた営業情報の紹介

震災被災住民への商品、サービス等のサポート

その他、各々の地域ネットワークを活用した情報、サービスの提供



(北海道・東北・北陸ビジネスマッチングの様子)

以上

平成 25 年 8 月 1 日

各 位

株式会社 北海道銀行

「東北・北海道 6 次産業化ビジネスフォーラム」の開催について

北海道銀行（頭取 堰八義博）は、東北・北海道地区交流促進地銀連携事業の一環として下記の通り「東北・北海道 6 次産業化ビジネスフォーラム」を開催いたします。

フォーラムのテーマである「6 次産業化」は、新成長戦略分野である「農業」を含む第 1 次産業の活性化に資するものであり、東北・北海道地区においても地方銀行 11 行すべてにおいて、今春「農林漁業成長産業化ファンド」を立ち上げるなど積極的な取り組みを展開しております。フォーラムでは、東北・北海道地区の各地方銀行が連携することにより、各地域の第 1 次・2 次・3 次産業のビジネスマッチングを実現し、「6 次産業化」の促進を図ってまいります。

記

1. 開催日 平成 25 年 11 月 18 日（月）～19 日（火）
2. 会 場 ロイトン札幌（札幌市中央区北 1 条西 11 丁目）
3. 開催内容 講演会、パネルディスカッション、商談会の開催
4. 開催テーマ
 - (1) 6 次産業化のためのビジネスマッチング
東北・北海道地域内における第 1 次・2 次・3 次産業間のビジネスマッチングの実現
 - (2) 地域特産品の高付加価値化
東北各県や北海道が持つ農畜産物、水産物、林産物および製造・加工技術の融合により付加価値の高い製品を地域内外に発信
 - (3) 連携事業に伴う地場産業の活性化
雇用機会の創出や設備投資の促進を通じた農林漁業成長産業化ファンドの有効活用
5. 出 展 出展企業 90 社程度（東北・北海道各地より）
6. 主 催 北海道銀行
7. 共 催 青森銀行、みちのく銀行、岩手銀行、東北銀行、七十七銀行、秋田銀行、北都銀行、荘内銀行、山形銀行、東邦銀行、道銀・日経ベンチャー経営者クラブ、日経 B P 社・「日経トップリーダー」経営者クラブ

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

(株)北海道銀行

営業企画部	北海道東北交流促進室	大橋	TEL 011 233 1043
営業推進部	アグリビジネス推進室	中島、竹花、松田	TEL 011 233 1066

HOKKAIDO BANK

News Release

平成 27 年 1 月 30 日

各 位

株式会社北海道銀行

第 28 回北海道産品商談会（東京会場）併催 「北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京～6次産業化商談会～」 の開催について

ほくほくフィナンシャルグループ傘下の北海道銀行（頭取 堰八義博）と北陸銀行（頭取 庵栄伸）は、北海道等と共催し、下記のとおり「北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京～6次産業化商談会～」を開催します。

本会は、ほくほくフィナンシャルグループ及び「東北・北海道地区交流促進地銀連携」のリレーションを活かし、北陸・東北各県と北海道が有する地域特産品の付加価値を高めることや、6次産業化を展望したビジネスマッチングを支援することを目的としています。

また、併催の第 28 回北海道産品取引商談会(東京会場)に、百貨店・スーパー・コンビニエンスストア等のバイヤーが多数来場されることから、出展企業とバイヤーの直接面談によりビジネスチャンスの拡大が期待されます。

北海道銀行・北陸銀行は、地域振興・地場産業育成の観点から、今後も北陸・東北・北海道の地域間連携による相乗効果を最大限活用し、お取引先の新商品開発や新規事業をサポートしてまいります。

記

- 開催日時 : 平成 27 年 2 月 3 日（火） 13:00～17:00
オープニングセレモニー 12:40～12:50
- 会 場 : 東京交通会館 12 階ダイヤモンドホール、カトリアサロン B
(東京都千代田区有楽町 2-10-1)
- 出展企業 : 36 社
- 開催内容
【個別相談・商談会 カトリアサロン B】13:00～17:00
出展企業 36 社・アドバイザー 18 名との面談形式の個別商談・相談を実施いたします。
【展示商談会 ダイヤモンドホール】13:00～17:00
出展企業 36 社が P R ブースにて展示形式で来場者との商談を実施いたします。
- 開催形態
主 催 : 北海道・北海道銀行・北陸銀行
一般社団法人北海道貿易物産協会・株式会社札幌丸井三越・株式会社北海道百科
協 力 : 青森銀行・みちのく銀行・岩手銀行・東北銀行・七十七銀行・秋田銀行・北都銀行
荘内銀行・山形銀行・東邦銀行

以 上

【お問い合わせ先】北海道銀行営業企画部北海道東北交流促進室	大橋	011-233-1043
営業推進部アグリビジネス推進室	佐藤	011-233-1066
経営企画部広報 CSR 室	大海・谷	011-233-1005
北陸銀行 法人・公共営業部	野崎	076-423-7111

銀行名	北海道銀行
タイトル	エコノミクス甲子園地区予選大会の開催
取組み内容	<p>【背景・経緯】 当行は、次世代を担う高校生への金融教育活動としてクイズを楽しみながら金融・経済に関する知力を習得してもらうとともに、お金との関わり方やライフデザイン等を考えるきっかけとしてもらうことを目的として平成 20 年よりエコノミクス甲子園北海道大会の運営全般を行っていた。</p> <p>しかし、北海道は広域に亘るため、参加者は札幌市近郊地区の高校生が中心となっていた。そこで当行は、広く道内の高校生が参加しやすくなるように道内各地の信用金庫様、信用組合様とのリレーションを活用し、全国初の地区予選大会を開催した。</p> <p>【取組みの概要】 平成 26 年上期より各地区の信用金庫様、信用組合様へ開催を呼びかけ、平成 26 年 11 月 2 日～9 日に函館市、帯広市、釧路市、旭川市、札幌市の道内 5 カ所において全国で初めての取組みとなる地区予選大会を開催した。その結果、前年（札幌市での北海道大会 1 開催のみ）を大きく上回る 28 校 74 チームの参加をいただいた。</p> <p>平成 26 年 12 月 7 日には、地区予選大会で優秀な成績を修めた 13 チームを招待しての北海道大会を開催。北海道大会の優勝チームは、全国大会でも準優勝を果たした。</p> <p>(地方大会を主催いただいた信用金庫様・信用組合様) 旭川信用金庫様、江差信用金庫様、渡島信用金庫様、帯広信用金庫様、釧路信用金庫様、札幌信用金庫様、札幌中央信用組合様、大地みらい信用金庫様、十勝信用組合様、函館商工信用組合様、北央信用組合様、北星信用金庫様、留萌信用金庫様</p> <p>(エコノミクス甲子園北海道大会の様子)</p> 

平成 26 年 9 月 24 日

各 位

北 海 道 銀 行

第 9 回 全国高校生金融経済クイズ選手権
「エコノミクス甲子園 北海道大会 地区予選大会」の参加者募集について

北海道銀行は、旭川信用金庫様、江差信用金庫様、渡島信用金庫様、帯広信用金庫様、釧路信用金庫様、札幌信用金庫様、札幌中央信用組合様、大地みらい信用金庫様、十勝信用組合様、函館商工信用組合様、北央信用組合様、北星信用金庫様、留萌信用金庫様とともに第 9 回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園 北海道大会」を開催いたします。

本大会は、高校生向けの金融教育活動として実施するもので、高校生の皆様にクイズを楽しみながら金融・経済に関する知力を習得していただくとともに、お金との関り方やライフデザイン等を考えるきっかけとしていただくことを目的としております。

今年は、旭川市、函館市、釧路市、札幌市、帯広市の道内 5 カ所において全国で初めての取り組みとなる地区予選大会を開催いたします。また、地区予選大会で優秀な成績を修めたチームを北海道大会へご招待いたします。なお、北海道大会に優勝し、全国大会を勝ち抜いたチームには、ニューヨーク研修旅行がプレゼントされます。

参加者の募集については下記の通りです。たくさんのお申込みをお待ちしております。

記

1. エコノミクス甲子園 北海道大会 地区予選大会 参加者募集概要

- (1) 申込資格：道内の同じ高校に通う高校生が 2 名 1 組で参加。
- (2) 申込方法：オフィシャルWEBサイト (<http://econ-koshien.com>) から申込み。
高校の所在地により次の 5 つから参加する大会を選択する。

	大会名	開催地	申込期限
	上川・宗谷・留萌・オホーツク地区予選大会	旭川市	10 月 26 日 (日)
	渡島・檜山地区予選大会	函館市	10 月 19 日 (日)
	釧路・根室地区予選大会	釧路市	10 月 26 日 (日)
	石狩・空知・後志・胆振・日高地区予選大会	札幌市	10 月 26 日 (日)
	十勝地区予選大会	帯広市	10 月 25 日 (土)

参加費無料、参加賞進呈、成績優秀者は北海道大会に進出。

出題するクイズは筆記クイズ・早押しクイズ・ボードクイズなど。

2. エコノミクス甲子園 北海道大会 地区予選大会 開催概要（敬称略）

(1) 上川・宗谷・留萌・オホーツク地区予選大会

主催	旭川信用金庫 北星信用金庫 留萌信用金庫
開催日時	平成 26 年 11 月 9 日（日）10 時 30 分～
会場	旭川信用金庫 本店 （旭川市 4 条通 8 丁目 JR 旭川駅より徒歩 10 分）
募集定員	30 チーム（60 名、定員になり次第締め切り）

(2) 渡島・檜山地区予選大会

主催	渡島信用金庫 江差信用金庫 函館商工信用組合
開催日時	平成 26 年 11 月 2 日（日）10 時 30 分～
会場	函館商工信用組合 本店 （函館市千歳町 9 番 6 号 市電「新川町」電停そば）
募集定員	30 チーム（60 名、定員になり次第締め切り）

(3) 釧路・根室地区予選大会

主催	釧路信用金庫 大地みらい信用金庫
開催日時	平成 26 年 11 月 9 日（日）10 時 30 分～
会場	釧路プリンスホテル （釧路市幸町 7 番 1 号 JR 釧路駅より徒歩 10 分）
募集定員	20 チーム（40 名、定員になり次第締め切り）

(4) 石狩・空知・後志・胆振・日高地区予選大会

主催	札幌信用金庫 北央信用組合 札幌中央信用組合
開催日時	平成 26 年 11 月 9 日（日）10 時 30 分～
会場	北海道銀行 ほしみ研修センター （札幌市手稲区星置南 4 丁目 43 番 5 号 JR ほしみ駅より徒歩 1 分）
募集定員	30 チーム（60 名、定員になり次第締め切り）

(5) 十勝地区予選大会

主催	帯広信用金庫 十勝信用組合
開催日時	平成 26 年 11 月 8 日（土）10 時 30 分～
会場	帯広信用金庫 中央支店ビル 3 階セミナールーム （帯広市西 3 条南 14 丁目 1 番地 1 JR 帯広駅より徒歩 3 分）
募集定員	20 チーム（40 名、定員になり次第締め切り）

各大会ともに共催：特定非営利活動法人金融知力普及協会、後援：北海道教育委員会

3. エコノミクス甲子園 北海道大会 開催概要

主 催	北海道銀行
共 催	特定非営利活動法人 金融知力普及協会
後 援	北海道教育委員会
開催日時	平成 26 年 12 月 7 日（日）10 時 30 分～
会 場	北海道銀行 ほしみ研修センター （札幌市手稲区星置南 4 丁目 43 番 5 号 JR ほしみ駅より徒歩 1 分） 会場までの交通費は主催者負担
参加者	地区予選大会の成績優秀者（最大 32 チーム）
その他	参加費無料、参加賞進呈、優勝者は全国大会に進出。 前年の優勝チームは札幌旭丘高校チーム「ばいなぼー」。

以上

お問い合わせ先： 北海道銀行 広報 C S R 室 大海・石田 TEL 011 - 233 - 1005